第 154 回いわき市都市計画審議会議事録

1 日 時 令和 5 年 11 月 24 日（金）午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分まで

2 場 所 いわき市文化センター 3 階 大会議室

3 議 事

○報告事項

- ・第二次いわき都市計画道路網再編計画の検討状況について
- ・いわき駅前周辺の中心市街地活性化に向けた歩行者中心の道路空間の創出について

4 出席委員（14 名）

1 番：田口重憲委員	2 番：田口信教委員	5 番：小野栄重委員
6 番：新妻多恵子委員	7 番：松崎正利委員	9 番：小野茂委員
10 番：蛭田源治委員	11 番：田頭弘毅委員	12 番：菅野宗長委員
13 番：長谷川貴士委員	14 番：原田洋平委員	16 番：吉田伸明委員
17 番：北林由布子委員	18 番：大竹美恵委員	

5 欠席委員（4 名）

3 番：鈴木延枝委員	4 番：草野庄一委員	8 番：檜村弘委員
15 番：新田邦彦委員		

6 事務局出席職員

・いわき市都市建設部

部長	永井 吉明
次長	紺野 克彦
都市計画課	
参事兼課長	小林 重則
課長補佐	田中 賢太郎
計画係長	長 剛
主査	酒井 圭
技術主任	加藤 雅俊

・福島県いわき建設事務所企画管理部

企画調査課	
主任主査（企画調査係長）	吉田 有朋

司 会	<p>○開 会</p> <p>本日は、委員の皆様には御多忙のところ御出席を賜り、誠にありがとうございます。 只今より、「第 154 回いわき市都市計画審議会」を開催いたします。</p>
司 会 会 長	<p>○会長あいさつ</p> <p>はじめに、当審議会の会長であります、田口会長より御挨拶をいただきます。会長よろしくお願ひいたします。</p> <p>第 154 回いわき市都市計画審議会の開催にあたり、一言あいさつ申し上げます。</p> <p>本日は、大変お忙しい中、御出席いただき誠にありがとうございます。 さて、人口減少や超高齢社会が進行する中、いわき市が将来にわたり持続可能な都市運営を続けていくためには、いわき市が多くの方から居住地として選択されるよう、若い世代を中心に多くの世代が豊かな暮らしを手に入れることができる都市を実現することが大変重要でございます。そのためには、社会情勢の変化を踏まえ、市内の各拠点において一定の人口密度を維持し、拠点性を高めながら、公共交通を主軸とするネットワークでつなぐ「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成に向けた都市計画やまちづくりが重要となります。</p> <p>本日の案件は、道路に関する 2 件の報告事項となります。1 つ目は、円滑な都市交通を確保し、良好な都市環境を形成するために定められている都市計画道路にかかる再編計画の検討状況についてです。2 つ目は、現在様々な開発が進められておりますいわき駅前周辺における中心市街地活性化に向けた歩行者中心の道路空間の創出についてです。</p> <p>いずれの案件につきましても、社会の変化を捉え、より豊かな暮らしへとつなげるまちづくりの重要な案件となりますので、本日の審議会を通して、市の取組みに理解を深めていただければと思います。</p> <p>本日も、委員の皆様には円滑な議事運営について、御協力のほどよろしくお願ひいたします。</p>
司 会	<p>ありがとうございました。</p>
司 会	<p>○傍聴者への注意</p> <p>次に、傍聴者の皆様へ御連絡いたします。 審議会開催中は、静粛に傍聴願ひます。 また、いわき市都市計画審議会傍聴要領を遵守いただけない場合には、退場いただくことがございますので、あらかじめ御了承ください。 なお、携帯電話をお持ちの方は、電源を切るか、マナーモード等への切り替えをお願ひいたします。</p>
司 会	<p>○資料確認</p> <p>続きまして、本日の審議会の資料を確認させていただきます。 事前に皆様に配布又は郵送させていただいておりますので、資料を御覧願ひます。また、資料については事前にお渡しさせていただいておりますが、パワーポイント資料につきましては、一部修正があったことから、改めてお席に配布しておりますので、そちらを御覧ください。 まず、審議会次第、次に、委員名簿、次に、議案書、次に、パワーポイ</p>

	<p>ント説明資料、最後に、いわき市都市計画審議会条例、以上でございます。皆様、全てお揃いでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、以後の進行については、田口会長にお願いしたいと思います。会長よろしくお願ひいたします。</p>
<p>会 長</p>	<p>○定足数の確認</p> <p>では、まず、出席委員の人数を確認いたします。</p> <p>当審議会の委員は 18 名であります。今日は、14 名の委員に御出席いただいております。</p> <p>欠席委員は、3 番鈴木延枝委員、4 番草野庄一委員、8 番檜村弘委員、15 番新田邦彦委員でございます。</p> <p>また、6 番新妻委員におかれましては、会議が長引いた場合には所用のため途中退席されるとのことでございます。</p> <p>従いまして今日は、現時点で 14 名の委員、新妻委員が退席された場合でも、13 名の委員ということで、過半数に達しておりますので、審議会条例第 5 条第 2 項の規定により、本日の審議会が成立していることを確認いたします。</p>
<p>会 長</p>	<p>○議事録署名者の指名</p> <p>次に、議事録署名人でございますが、出席委員の中から名簿番号順にお願いしておりますので、13 番長谷川貴士委員、14 番原田洋平委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>異議なし</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、今回の議事録署名人は、長谷川委員と原田委員にお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>会 長</p>	<p>○前回の結果報告</p> <p>それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。</p> <p>まず、令和 5 年 5 月 23 日に開催されました「第 153 回いわき市都市計画審議会」での審議案件の結果につきまして、事務局から報告願ひます。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい、議長。事務局の都市計画課長小林でございます。よろしくお願ひいたします。恐れ入りますが、着座にて説明させていただきます。</p> <p>それでは、議案書の 1 ページをお開き願ひます。</p> <p>前回の第 153 回いわき市都市計画審議会の結果報告をさせていただきます。</p> <p>前回の審議会につきましては、令和 5 年 5 月 23 日の午前 10 時から、場所は、本日と同じ市文化センター 3 階の大会議室で開催しております。</p> <p>内容でございますが、附議案件といたしまして、常磐地区の市街地再生の取組みに関連した土地区画整理事業の決定、及び都市計画道路の変更についての 2 件でございます。いずれも審議の結果、原案のとおり承認をいただき、その後令和 5 年 6 月 14 日に都市計画決定・変更の告示を行っております。</p> <p>前回の審議案件の結果及び報告につきましては、以上でございます。</p>
<p>会 長</p>	<p>○議事（報告事項）</p> <p>ありがとうございました。</p>

<p>事務局</p>	<p>それでは、次第4の議事に入ります。</p> <p>はじめに、報告事項「第二次いわき都市計画道路網再編計画の検討状況について」、事務局、説明をお願いします。</p> <p>はい。議長。それではお手元の右上に説明資料と記載のあるA4横のパワーポイントの資料、それから同じものをスクリーンに映しておりますので、確認しやすい方で御覧いただければと思います。</p> <p>まず、報告事項のうち第二次いわき都市計画道路網再編計画の検討状況について御説明申し上げます。</p> <p>こちらは、現在継続して検討を進めているところでありまして、本日は中間報告としてその内容について御報告申し上げます。</p> <p>資料は4ページをお開きいただきまして、はじめに都市計画道路の概要についてであります。</p> <p>今回検討する都市計画道路とはというところからはじめに説明させていただきます。都市計画道路とは、円滑な都市交通を確保し、良好な都市環境を形成するため、ルートや幅員などを定め、都市施設として都市計画に位置付けられた道路であります。</p> <p>スライドに都市計画道路のイメージ図を示しております。</p> <p>①から③の赤で着色された部分が都市計画道路であり、③は整備済みの道路を表しておりますが、この③の整備済みの道路以外にも、①や②のように将来的に道路を拡幅または新設することとして、未整備区間を含む都市計画道路も存在いたします。</p> <p>このような未整備区間では、将来的な道路整備を円滑に進めるため、都市計画法に基づく建築制限が課せられております。</p> <p>次に、5ページをお開きいただきまして、いわきの都市計画道路の変遷と現状になります。</p> <p>本市におきましては、図に示しますとおり、昭和41年の合併後、追加変更により、路線数が増加傾向にある中、平成20年に都市計画道路網再編計画を策定しまして、一部路線の廃止などの見直しを行った上で、これまで整備を進めてきたところです。</p> <p>その結果として整備率は約76%であり、未整備路線が未だに残る状況にあります。</p> <p>続いて6ページです。都市計画道路を取り巻く国・県の状況です。</p> <p>以前は、都市計画道路は都市の拡大を前提に決定されてまいりましたが、現在は、コンパクトなまちづくりを進めるコンパクトプラスネットワークの取組みが進められており、都市の骨格を定める都市計画道路についても、このような考え方に対応したものになっているのか、その検証が求められております。</p> <p>このような中、国では都市計画道路の見直しの手引きを、それから福島県におきましては、見直しガイドラインを公表するなど、適切な都市計画道路の見直しを進めることとしております。</p> <p>資料7ページをお開きいただきまして、次は、本市の状況です。</p> <p>本市では、将来都市像として「ネットワーク型コンパクトシティ」を掲げ、これを実現するため、令和4年度に第二次いわき都市圏都市交通マスタープランを策定しておりますが、20年後の2042年には、市民の総移動量</p>
------------	---

であるトリップ数は、令和2年の移動量から約30%減少することが予測されています。

また、平成20年に策定した再編計画により路線の見直しを行っているものの、未だ都市計画の決定後長期にわたり整備に未着手な路線が多く存在し、その結果として建築制限が長期化しているなどの課題を抱えております。

次に、8ページです。

このような背景を踏まえまして、長期未着手になっている都市計画道路は、将来都市像の骨格となる路線となっているのか、また、将来の交通需要に見合った計画であるのかなどにつきまして、上位計画との整合を図りながら、都市計画道路が有する機能や役割、さらには、重要性、必要性を再検証することといたしました。

次に、9ページをお開きいただきまして、ここからは、具体的な見直しの評価フローや考え方についてであります。

スライドでお示していますのは、福島県が公表している見直しガイドラインの一部になります。

県のガイドラインにおきましては、まちづくり、それから道路の機能、道路網の3つの視点から評価を行うこととしており、今回の我々の見直しでも、この県のガイドラインに即して見直しを進めることとしております。

続いて10ページを御覧いただきまして、こちらは今回の見直しの進め方になります。

まずは、市内の既に決定しております都市計画道路のうち、未整備区間を有しているかなどの4項目を踏まえ、まず対象路線を抽出いたします。

続いて、抽出した対象路線を必要性、代替性、実現性の評価のほか、将来交通量や道路管理者などの意見を踏まえて、その路線について継続をしていくのか、あるいはルートや幅員を変更するのか、また、廃止をするのか、このいずれかに分類しまして、これらを取りまとめた上で見直し計画の素案を作成いたします。

続いて、11ページをお開きいただきまして、こちらは、初めの作業として行います、見直し対象路線の抽出のフローになります。

既に決定されている都市計画道路は全部で124路線ございますが、このうち未整備区間などを有する都市計画道路は36路線ございます。

このうち、具体的な事業計画がなく、都市計画決定から20年以上経過している路線について、31路線ございますが、こちらを見直し対象路線として抽出しております。

次に、12ページであります。この見直し対象路線の一覧表と、対象路線の位置図となります。

小さくて見えにくいのですが、位置図のうち赤で着色された区間を含む路線が見直し対象路線であります。

次のページをおめぐりいただき、13ページは北側を拡大した図、それから14ページは南側を拡大した図になります。

詳細な説明につきましては、割愛をいたします。こちらは御参照をいただければと思います。

	<p>次に、15 ページ、16 ページを御覧いただきまして、こちらは先ほど申し上げました評価項目である必要性、それから16ページに行きまして代替性、実現性、それぞれの視点、内容でありまして、これら3つの評価項目で見直しの検証を行います。</p> <p>15 ページの必要性におきましては、国の見直しの手引きを参考にしながら表に記載の項目により評価を行います。</p> <p>16 ページの代替性におきましては、代替路線の有無や交通処理の状況から評価を行います。</p> <p>その下、実現性におきましては、周辺における関連事業の有無や地域コミュニティへの影響としまして、多くの家屋移転が伴うかなどに注目し、評価を行うこととしております。</p> <p>詳細につきましては、こちらも御参照いただければと思います。</p> <p>次に、17 ページをお開きいただきまして、最後になりますが、今後のスケジュールです。</p> <p>本日は、見直しに係る基本的な考え方について、御報告させていただきました。</p> <p>現在は、各路線の評価結果などにつきまして、各道路管理者などと協議を進めており、今後策定の作業を進めまして、来年3月に予定する市都市計画審議会へ計画案を諮問させていただきまして、第二次再編計画として年度末策定を目指したいと考えております。</p> <p>第二次いわき都市計画道路網再編計画の検討状況につきまして、説明は以上となります。</p> <p>○質疑（報告事項）</p> <p>会長 ありがとうございます。ただいま、事務局より説明がありましたが、御質問がありましたらお願いいたします。</p> <p>松崎委員（7番） 見直しは大変いいと思いますが、この継続とか廃止はわかるのですが、変更という、例えば幅員の変更とか路線の位置の変更というのを考えているのかどうか。</p> <p>また、先ほど説明がありましたように、合併前の旧市町が決定した路線には多分幅員が6mとか7mとかという路線もあったと思いますが、都市計画道路として事業化するには最低でも12mの幅員がないと施工できないと思います。そのような路線というのは、代替性があれば廃止も考えていくのか、それとも新しい路線として幅員の変更を考えているのか、その辺をちょっと確認させてください。</p> <p>会長 はい。事務局、よろしく申し上げます。</p> <p>事務局（都計） ありがとうございます。</p> <p>まず1つ目ですが、幅員やルートの変更というものも視野にあるのかという質問でございますが、今回様々な評価項目から検討いたしますが、わかりやすい事例で一つ申し上げますが、まず、現在のルート上において、例えば家屋が多く連担し、かつ事業の実現性において非常に難しいという判断があった場合に、ただそのルート周辺にはどうしても都市計画道路としての路線は必要だというものがあれば、そういった家屋連担地区を迂回したようなルートの変更であるとか、そういったことも一つ視野に入れら</p>
--	---

	<p>れるのかなと思います。</p> <p>それから、将来にわたる人口減少に伴ってというところが一番の要因になりますが、将来交通量が大幅に減少することが見込まれておりますので、幅員については、例えば、現時点で4車線の計画をしておるものの、将来の交通量を考えると2車線で十分だろうというような判断があれば、そういった幅員の見直しというものも出てこようかなと思っております。</p> <p>それから事業実施にあたって、国の補助支援を受けられるような幅員への見直しという視点での御質問かと思いますが、確認したところ、以前は補助の対象は12mという要件があったのですが、現在はこの都市計画道路の整備に係る国の補助制度の支援を受けようとするときには、計画幅員は要件にはなっておりません。</p> <p>ただし、今松崎委員から御質問がありましたのも、未整備路線の整備をしっかりと促進していくという観点かと思いますが、今後もこういった路線の整備をするにあたっては、しっかりと国の支援制度も受けながら進めていくことが重要ですので、支援制度を十分に活用した整備についても併せて検討していく必要があると考えております。以上です。</p>
松崎委員 (7番)	<p>ありがとうございました。</p> <p>常磐地区では幅員6mとか7mの計画を3番の幹線街路として決定していますが、付近に代替する交通路線や道路があるとすれば、これを例えば7番の区画街路に格下げをして、交通管理上一方通行にして道路整備していくという方法もあると思います。</p> <p>その点について検討する価値があると思うのですが、どうでしょう。</p>
会 長	事務局お願いします。
事務局 (都計)	<p>まず、1つ事例を申し上げますと、今常磐地区においては市街地再生整備ということで、常磐地区の街の活性化に向けた様々な取組みを進めております。</p> <p>そういった中で非常に狭い道路ではありますが、車と歩行者が共存するような道路について、特にまちづくりとの連携という視点に重きを置きながら検討していることもございますので、具体的な箇所はまだまだ持ち合わせておりませんが、松崎委員からありましたお話についても今後我々の検討の中にしっかりと活かしていきたいと考えております。</p>
松崎委員 (7番)	<p>ありがとうございます。最後にちょっと難しい質問なんですけど、多分4車線の計画決定をしても未整備なところもあると思います。各交通管理者の意見も聞かなくてはならないと思うのですが、この見直しの中で、整備順位までは難しいとしても、何か優先順位というか、この道路が必要だという順位付けというのはするかどうか、その辺どうなんでしょう。</p>
会 長	事務局お願いします。
事務局 (都計)	<p>端的に申し上げますと、第二次再編計画の中では、残された未整備区間の優先順位というものは、位置付ける予定はございません。今回の31路線につきましては、県と市が道路管理者となっている路線でありまして、原則としては、県、市それぞれにおいて、各路線の評価内容とか財政状況等も踏まえながら、地域の合意形成等を踏まえて優先順位が決定されていくものになるだろうと考えておりますが、委員からもお話があったとおり、</p>

	<p>市は市、県は県だけではなく、しっかり連携を図りながら、全体のネットワークとしてどう整備していくべきかという視点も当然持ち合わせながら検討していく必要があると思います。</p> <p>この道路網再編計画の中では、優先順位までは位置付けることはないかと考えておりますが、これからの事業実施の中で、そういったことも踏まえて検討をしていければと思っております。</p>
松崎委員 (7番)	<p>ありがとうございました。評価の中で、路線の交通量とか将来交通量とかを位置付けてもらえれば、大体優先順位はわかるのかなと思いますので、その辺の評価をよろしく願いいたします。</p>
会 長	<p>その他御質問ございませんでしょうか。</p>
田口委員 (2番)	<p>一言言わせていただくと、道路を走る車が無人化に向かっていて、私の車も前に車や人がいたりすると、ピツとなるミリ波レーダーというものがあります。いわきで道路を走っていると、街路樹などが草ぼうぼうで、近くを通るとピッピと音が鳴るんです。綺麗にして欲しいと思うんですが、そういうことも含めた都市計画道路の計画をして欲しいなと思います。ゆったり館や新舞子浜の海岸沿いは、意外と草ぼうぼうの道路があって、私の車は通った瞬間にビビッと音が鳴るんですね。そういう所だと無人の車はおそらくいろいろな反応をしてしまうのかなと思うんです。そういう前提で、都市計画道路の計画をしていただけると、と思います。</p> <p>それと、高齢社会ですので、いろいろな人がいて、歩道を歩いていても轆かれる時代になりつつあるように思うんですね。ですから都市部の場合には2階建ての歩道にしないと難しいのかなと思うんです。ブレーキとアクセルを間違える人が多いように思うので、都心、特に込み合う場所は安全性を高める意味で、2階建てですね。いわき市は、駅前が2階建てになっていますね。あんな形で1階部分のところをドライブスルーにして、道路縁に1台でも車が停まると交通渋滞になりますから、歩道に乗り上げていただくような改革をしていただくといいんじゃないかなと思います。</p>
会 長	<p>事務局、いかがでしょうか。</p>
事務局 (都計)	<p>自動運転を視野に入れてということで、おそらく街路樹だけの問題でもないのかなと思っています。ただ、現時点でまだまだ自動運転に向けての道路整備のあり方が我々も見えていないところもございます。いずれそういう時代がそう遠くないところに来ようと思っておりますので、我々道路を整備する者としては、そういった観点にも重きを置いて検討を進めていくところは当然今後出てくるのかなと思っております。</p> <p>また、2階建ての歩道については、貴重な御意見としてお受けいたします。</p>
田口委員 (2番)	<p>個人的な希望なんですけど、2階建てにしてくれると道路を遮断しないでいわきマラソンができるとか、2階建てのところを走っていただくとか、いろいろな活用の仕方ができるのかなと思います。東京マラソンでは、道路を完全に封鎖してしまうんですね。ですから浅草のメイン通りは向こうに渡るのが大変なんです。救急車も大変なことになっているんです。そういう事態を考えると、イベントはイベントでどうぞ自由におやりくださいで、交通渋滞はしませんよという環境ができると思います。</p>

	<p>皆さんあまり直接お聞きになっていないと思うんですけど、スポーツ連盟にいますと、苦情の電話が連盟にかかってくるんです。私は水泳連盟ですけど、水泳はプールを貸し切りにしただけで苦情が来るんですね。何のためにやっているんだと、毎日泳いでいるのが泳げないじゃないかと、3日間も5日間も止めるとはとんでもないと言って、怒鳴り込んでくるんですよ。そういう現場に居合わせた人間なものですから、できればああいう市民を巻き込んだイベントのためにも、道路整備はかなり重要ではないかなと思いますのでよろしくお願いします。</p>
会 長	<p>御意見ありがとうございました。その他御質問ございませんか。</p>
菅野委員 (12番)	<p>先ほどの松崎委員の質問と関連しているんですけども、資料の15、16ページの見直しの評価フロー・考え方について、評価項目がいろいろありますが、評価というのは専門家ではないので、どんなふうに評価しているのか。点数をつけてやるのであれば、そういうこともちょっと知らせて欲しいなと思いますし、1か0でやっているわけではないんだろうなと思うんですけども、その辺の評価の仕方を、どんなふうにやっていくのかをお聞かせください。</p>
会 長	<p>事務局、よろしくお願いします。</p>
事務局 (都計)	<p>御質問ありがとうございます。 まず、いろいろと評価項目がございますけれども、例えば、15ページで言いますと、評価の内容の一番上に都市機能誘導区域又は居住誘導区域内を通過する道路とありますが、路線としてこの区域を通過するのか、このある、なしというのは、まず確認いたします。ただ、こちらがないという場合、一つの項目でもない、もう廃止です、変更ですという検討の仕方はしておりません、一通りどういう道路の状況になっているかを判断いたしまして、相対的に交通量とかそういったものも含めて総合的に判断していくというところで今検討を進めさせていただいております。</p>
菅野委員 (12番)	<p>最終的にこの審議会の審議にかかる時には、総合的に判断してそうなっているというその中身はわかるようになるんですか。</p>
事務局 (都計)	<p>今取りまとめている資料の中でも、この項目では該当する、または該当しないとか、または交通量がどうだとかそういうところはもちろん取りまとめてお示しできるようにしておりますので、3月に御審議いただく際には、そういった資料は準備できるかと思います。</p>
会 長	<p>その他御質問ございますか。</p>
原田委員 (14番)	<p>些末な意見と一つ質問なのですが、些末なところとしては、13ページの地図を見た時に、⑥正内町北目線に赤が塗っていないので、どこを整備するのかということと、もう一点が17ページのスケジュールの中でわからなかったのが質問なのですが、市民の方に意見を伺うことについて、どういった形でどのタイミングで想定されているのか教えていただければと思います。</p>
会 長	<p>事務局お願いします。</p>

事務局 (都計)	<p>ありがとうございます。初めに、御指摘がありました正内町北目線については、交差点の本当に一部でありまして、この図面の大きさでは表現できなくて赤色に塗っていないように見えるのですが、そういった部分で位置付けがでございます。</p> <p>それから二つ目、市民意見を伺わないのかというところでございますが、この道路網再編計画については、このタイミングで御意見をいただくのではなく、この次の具体的な事務手続きとして、実務的には都市計画の変更の手続きというものが生じて参ります。この時には地域への説明や、公聴会を行い、必要な説明を尽くして市民の意見聴取を行っていきたくと考えております。</p>
会 長	<p>その他御質問などはございませんか。</p>
委 員	<p>なし</p>
会 長	<p>○議事（報告事項）</p> <p>ないようですので、次に、報告事項「いわき駅前周辺の中心市街地活性化に向けた歩行者中心の道路空間の創出について」、事務局、説明をよろしくお願いします。</p>
事務局 (都計)	<p>それでは報告事項の2つ目、いわき駅前周辺の中心市街地活性化に向けた歩行者中心の道路空間の創出について御説明申し上げます。</p> <p>本来この都市計画審議会は、都市計画の決定と、重要な案件を御審議いただく場でございますが、これから御説明申し上げます報告事項は、御審議をいただくというよりは、皆様への情報提供という意味合いを含めて御説明させていただきます。</p> <p>現在、いわき駅周辺におきましては、タイトルにもありますが、地域の皆様と行政とで街の活性化に向けた取組みをスタートさせたところでありまして、本日は取組みの趣旨やこれまでの経過等について御説明をさせていただきますので、皆様から幅広く御意見や御感想などをいただければと思っております。</p> <p>それでは説明に入ります。引き続きA4横の資料、あるいはスライドを御覧いただければと思います。</p> <p>まず、資料の19ページをお開き願います。</p> <p>初めに、いわき駅前周辺を取り巻く現状について、御説明申し上げます。</p> <p>いわき駅前周辺は、いわき市中心市街地活性化基本計画において、本市の中心市街地に位置付けられておりまして、また、都市計画に関する基本的な方針を定める第二次いわき市都市計画マスタープランにおきましても、商業をはじめ様々な都市機能を集積する都心拠点に位置付けております。</p> <p>こちらのグラフと表は、平成29年に策定されたいわき市中心市街地活性化基本計画の一部抜粋となります。基本計画策定時のデータであるため、少々古い数値となりますが、平成28年にかけては、このように中心市街地の人口及び世帯数が減少しており、また、小売業の集積状況につきましても、平成26年にかけて、商店数や従業者数等がいずれも減少しており、市に対するシェアも減少傾向となっております。</p>

続いて 20 ページになりますが、こちらは中心市街地活性化基本計画の令和 4 年度において実施いたしましたフォローアップに関する報告からの抜粋になります。

先ほどのスライドとは異なる指標となりますので、直接の比較はできませんが、基本計画策定前の平成 28 年と令和 4 年を比較いたしますと、まず、中心市街地の居住人口は微増ではありますが、増加しており、地価公示価格につきましても同様に上昇しております。

また、中心市街地の新規出店者数については、こちらも令和 4 年では 35 件となっており、増加傾向にあることがわかります。

続いて 21 ページをお開きいただきまして、次に、いわき駅前周辺のまちづくりについて御紹介いたします。

これまで、図に黄色で示すとおり再開発事業等が進められてきたところでございますが、現在、いわき駅西側のいわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業によるマンションや商業・業務施設の整備のほか、いわき駅北口においては松村病院の建設、それからいわき駅東側においては旧イトーヨーカドー跡地の商業施設、PaixPaix と名称がついておりますが、その開発など、民間事業を中心とした都市機能の集積が進められております。

また、開発事業により新たな公開空地、オープンスペースとも呼ばれますが、これらの整備も進められておりまして、駅前広場や大工町公園に加えて、いわき駅前周辺の公共空間はさらに充実していく見込みとなっております。

21 ページになりますが、このようにいわき駅前周辺の市街地環境のさらなる充実が図られることによりまして、新たな居住者や来街者が見込まれ、駅前周辺の人流や滞留場所の変化により、道路など公共空間に求められる機能も徐々に変化しており、都市機能の集積・維持はもとより、商業の活性化や地域の活力増進、エリア価値の向上が期待されます。

このような状況からもいわき駅前周辺の賑わい創出及びまちなか全体の活性化に向けた取組みを、この機を捉えて今まさに進めることが重要であります。

続いて 23 ページをお開きいただきまして、こちらは、本市のまちづくりに係る計画の位置付けについて表したのになります。

本市におきましては、都市計画の基本的な方針であります都市計画マスタープランに即して具体的な取組み等を定めたいわき市立地適正化計画において、いわき駅前周辺を居住や都市機能を誘導する区域と定めており、また、本市の解決を図るべき課題として、若い世代の流出抑制、過度に車に頼らない日常生活の確保等を掲げているところでございます。

さらに、資料の下になりますが、交通分野の計画につきましましては、昨年度の都市計画審議会で御審議いただいたところではありますが、交通施策の基本的な方針であります都市交通マスタープランの実行計画となるいわき都市圏総合交通戦略において、戦略目標の一つに、まちなかへの居住・来訪しやすさの向上を掲げ、快適で魅力ある歩行空間等の創出、まちなかウォークアブル空間の形成を目指すこととしております。

24 ページになりますが、こちらは国土交通省の資料ではありますが、今後のまちづくりの方向性として、街路、公園、広場、民間空地といった官民

のパブリック空間をウォーカブルな人中心の空間へ転換・先導し、民間投資と共鳴しながら居心地が良く歩きたくなるまちなかを形成することを目指すこととしております。

このように国においても、ウォーカブル、さらには居心地が良く歩きたくなるまちなかというものを、都市再生のキーワードとして掲げているところがございます。

次に 25 ページをお開きいただきまして、他市の例に目を向けますと、歩行者・自転車・公共交通を優先する道路空間づくりや、様々な人々や活動を惹きつける公共空間づくりに力を入れる都市が近年増えてきております。

写真のように都市に活力を生み出すための取組みとして、車中心から人中心の空間を創出することで、道路を人々が集い、憩い、多様な活動を行う場へ変えていこうという動きが今各地で活発になっています。

続いて 26 ページですが、このような中、今まさに本市におきましても、いわき駅前の公共空間を活用したイベントや取組みが積極的に行われているところでもあります。

左上の写真になりますが、北林委員もメンバーでおられます平三町目商店会では、以前から物販やライブ、町歩き企画等が融合した三町目ジャンボリーというイベントを開催しておられます。

また、平三町目商店会では、まち歩きや路上の楽しみ方を考えるワークショップ等を高校生や大学生の若い世代を対象にしたもの、さらに大人を対象にしたものと多数開催していらっしゃいます。

それから、左下の写真ですが、平銀座通りにおいては、平銀座商店会とラトブの共催により昨年度から歩行者天国イベントが月 1 回定期開催されております。

その他にも、いわき駅南口駅前広場では、いわき F C のパブリックビューイングやマルシェイベントのほか、賑わいづくりに向けた実証実験としてキッチンカー等の出店が行われている事例がございます。

27 ページをお開きいただきまして、こちらの図は、それらの取組みの位置を示したものになります。

いわき駅前周辺で民間開発等のハード整備が活発に行われている中、先ほど御紹介いたしましたとおり、地域の方々や事業者による取組みも盛んに行われ、賑わいづくりに向けた機運が高まっております。

行政といたしましても、この機を捉えて、公民が連携し、地域や民間の取組みを加速させまして、これらの取組みそのものや効果をまちなか全体に波及させていくことが重要であると考えております。

このような状況の中、少し裏話的な話にもなりますが、昨年度開催した審議会におきまして、磐城国道事務所所長の原田委員より、この後説明をさせていただきますが、道路の歩行空間を活用した賑わいづくりを支援する、通称ほこみち制度の御紹介がありました。これを一つのきっかけといたしまして、30m大通りと言われる国道 399 号において、歩行空間を活用した賑わいづくりに向けた社会実験をやってみようかというお話もございまして、吉田所長をはじめとした福島県いわき建設事務所、それから先ほど御紹介しました、まちのプレーヤーとして御活躍されております北林委員をはじめとするまちの皆様と私ども市が連携して取組みをスタートさせたところがございます。次から、その内容について御説明申し上げます。

次に 28 ページとなりますが、取組みの内容に入る前に今申し上げたほこみち制度について、簡単ではございますが御説明いたします。

スライドにもありますとおり、歩行者利便増進道路、通称ほこみちですが、この制度とは、賑わいのある道路空間を構築するための道路指定制度でありまして、歩行者の安全かつ円滑な通行及び利便の増進を図り、快適な生活環境の確保と、地域の活力の創造に資する道路を指定するもので、歩道等の中に、通行区間とは別に歩行者の滞留・賑わい空間、図にピンクで示しているような部分であります。この賑わい空間を定めることが可能となるものであります。

また、空間の活用にあたっては、特例区域を定めることによりまして、道路占用許可が柔軟に認められるため、カフェやベンチ等の占用物件が置きやすくなり、民間の創意工夫を活用した空間づくりが可能となります。

さらに、道路空間を活用する者を公募により選定することで、最長 20 年の占用が可能となることから、テラス付きの飲食店など初期投資の高い施設も参入しやすくなるというメリットもございます。

続いて、29 ページです。

このほこみちは、国、県、市といった道路管理者が指定するものになりまして、指定要件といたしましては、4 つございます。

1 つ目として、快適な生活環境の確保と地域活性化に資するものであること、2 つ目として、歩行者の利便増進に資する適切な区間であること、3 つ目として、十分な有効幅員を確保できること、そして、4 つ目として、沿道住民等の関係機関との協議等により理解が得られていることであります。

その他、市町村の都市計画等のまちづくりとの整合性や道路交通への影響についても考慮するため、市町村長、公安委員会との協議も必要となります。

次に 30 ページです。

ここからは、ほこみち制度活用に向け今月実施いたしました社会実験について御説明いたします。

まず今回の目的ですが、中心市街地の活性化や公共空間の利活用のニーズが高まる中、いわき駅前の国道 399 号において、ほこみちの指定に向けた課題の把握や利活用計画策定のための基礎資料とするため行ったものでありまして、記載のとおり実施期間は今月 3 日から 19 日まで、先週末までになりますが、約 2 週間にわたり実施しております。

実施に向けては、私どもいわき市、それからいわき商工会議所、それからいわき市中心市街地活性化協議会、それから福島県いわき建設事務所の共催によりまして、また、いわき市平商店会連合会や磐城国道事務所等の後援をいただきながら、さらに、たいらまちづくり会社や北林委員が代表でございます株式会社やまと等の運営協力もいただきながら実施いたしております。

31 ページをお開きいただきまして、今年度の簡単なスケジュールを御覧いただきます。

まず実施にあたり、9 月 4 日に開催しておりますいわき市中心市街地活性化協議会の分科会において、関係者の皆様への説明及び意見交換を行いまして、その後 2 回のワークショップにより、社会実験の内容等を検討し、

10月6日の分科会で承認を得た上で、社会実験を実施しております。

続いて32ページになります。

まず、いわき市中心市街地活性化協議会分科会について御説明申し上げますと、この分科会は、中心市街地の活性化の総合的かつ一体的な推進に関し、必要な事項について協議することを目的に今年度設立されたものであります。具体的には、いわき駅前大通りのビジョンやほこみち指定に向けた社会実験利活用計画の合意形成に向けた協議を行っております。

商工会議所に事務局を務めていただきながら、メンバーは右側の表のとおり、様々な関係者により構成されております。メンバーは御参照いただければと思います。

続いて33ページをお開きいただきまして、社会実験の詳細について検討いたしましたワークショップの内容について、御説明申し上げます。

まず、メンバーですが、道路空間を利活用するための社会実験計画を企画・検討する中で、まちづくりへの参加意欲の醸成を図ることを目的の一つとしておりまして、近隣商店会や沿道企業、地域住民の皆さんのほか、高校生、大学生、さらに青年会議所の皆さんにも御参加いただいたところです。

9月12日開催の第1回においては、社会実験の企画内容や歩道の活用の仕方等について意見交換を行い、9月26日の第2回においては、第1回の意見を踏まえ取りまとめた社会実験計画案について、意見交換等を行っております。

続いて34ページになります。こちらは、ワークショップにおいて参加者の皆様から出された意見を取りまとめたものです。

簡単に申し上げますと、利活用の案として、軒先にイス・テーブルを置いて沿道を賑わい空間にしたいという意見、体験教室やワークショップの実施、ダンスや演奏、合唱など自由な表現ができる場、それから、子供たちの遊び場、さらに、部活の屋外活動の場、さらに、ゆっくりくつろげる憩いの空間、ふらっと立ち寄れる場といった様々な意見をいただいております。

これらの意見をまとめまして、子供からお年寄りまで誰もがくつろげる空間、それから、自由に活動や交流ができる空間、それから、イベント時だけでなく、日常的に人が集い、趣味や食などを楽しめる空間という3つの利活用の方向性を取りまとめまして、コンセプトを（仮称）国道399号社会実験いわき駅前公園化計画としたところでございます。

続いて35ページをお開きいただきまして、社会実験の実施概要となります。国道399号の平面図になっております。

いわき駅前公園化計画というコンセプトのもと、資料右側がいわき駅方面になりますが、いわき駅方面はラトブ前から、資料左側が十五町目交差点方面となりますが、こちら側は東邦銀行前までの両側の歩道を実験区間としておりました。沿道関係者が中心となって活用できる沿道施設活用スペース、それから、テーブルやイスを設置し誰でも自由に活用できる飲食・休憩スペース、それから、飲食や物販などの出店スペース、さらには、子どもの遊び場や様々なイベントができる多機能スペースというように、沿道の特性やワークショップでの意見を踏まえてスペース分けをしております。

なお、赤色の沿道施設活用スペース及び青色の出店スペースについては、公募により出店者を決定しております。

また、自転車の走行につきましては、案内看板及び、こちらの図では見えにくいですが、水色の矢印で示しております、車道に走行矢印を設置しまして、社会実験中は、自転車は車道において走行していただくようお願いをして取組んだところでございます。

36 ページですが、こちらは、社会実験のパンフレットになります。

なお、画面右下のイベントスケジュールにありますとおり、社会実験の期間中は、他のイベント等とも重なっておりました。それらのイベントと併せて広報するなど、連携して実施したところでございます。

続きまして、37、38 ページには、社会実験中の写真を掲載しております。

37 ページですが、歩道に設置されたテーブルやいすで自由に飲食や休憩をしている方や、オブジェで遊ぶ子供たちの姿が見られました。

また、38 ページですが、期間中は、飲食や雑貨等の出店をはじめ、ワークショップ、焚き火やフリーコーヒー、2人乗り自転車タンデムによるタクシー、段ボールファニチャーの設置、朝ヨガ、YouTube 配信など、こちらに掲載している写真以外にも地域の皆様や事業者の方々により、様々な企画が実施されたところでございます。

続きまして、39 ページをお開きいただきまして、次に今回の社会実験の効果計測についてです。

主なものを挙げますと、こちら3つになります。

まず、人中心の道路空間の創出効果を把握するため、歩行者通行量の変化把握を行っています。

それから2つ目として、来訪者の位置情報を計測し、滞留場所の広がり等を確認するため、スマートフォンの位置情報を活用した中心市街地における滞留時間の変化把握を行っています。

また、利用者、沿道関係者、出店者等といった様々な立場の方を対象に、社会実験の影響や公共空間利活用に対する意向等を把握するためのアンケート調査やヒアリング等を行ったところでございます。

なお、これらについては、現在結果の取りまとめを行っているところでございます。

最後になります。40 ページを御覧いただきまして、今後の取組みについてです。

まず、先ほどの効果計測を含め、社会実験の検証結果の取りまとめを行ってまいります。

その後、1月中旬以降を予定しておりますが、3回目のワークショップを開催し、社会実験の振り返りと今後のまちづくりへの参加について意見交換を行う予定としております。

それらを踏まえ、賑わいのある道路空間を創出するための利活用計画の案を作成いたします。

その後、いわき市中心市街地活性化協議会分科会を開催し、いわき駅前大通りのビジョンや道路空間利活用計画を策定してまいります。

以上が本日の報告内容の説明になりますが、今後も引き続きほこみち指定に向けた検討を進めるとともに、その先には、いわき駅前周辺の活性化

<p>会長</p>	<p>という大きな目標に向けまして、街の皆様とともに継続的な取り組みを行っていきたいと考えております。</p> <p>大変長い説明になり恐縮ではありますが、説明は以上でございます。</p> <p>御説明ありがとうございました。ただいまの事務局説明にありました社会実験には、運営協力として北林委員、共催として福島県いわき建設事務所所長の吉田委員、そして、いわき市中心市街地活性化協議会分科会のアドバイザーとして磐城国道事務所所長の原田委員が御参加されておりましたので、質疑の前に3人の委員の方々にも御発言いただきたいと思っております。</p> <p>それでは、まず、北林委員お願いいたします。</p>
<p>北林委員 (17番)</p>	<p>北林由布子です。よろしくお願いたします。</p> <p>この度の社会実験で運営に関わらせていただきました。どうもありがとうございました。</p> <p>路上というこのパブリックな空間をいろいろな方々にいろいろな使い方をさせていただきまして、路上の価値を再確認できるような社会実験になったなという感想を持たせていただいております。寒い時期でしたので気軽に座ってお茶をしてというよりは、寒過ぎたのでその辺りはなかなか難しかったかと思いますが、そういった気候の中でも、資料の写真に載せていただいたようないろいろな使い方をされた方々から、寒かったけど素晴らしい体験でしたという感想をいただいております。ぜひこういった取り組みを続けていくことによって街や商店街の新しい価値を再構築させていただければなと思っておりました。</p> <p>また、街の方々も人工芝やストリートファニチャーが置いてあるという状況を見て、それがあってもすごくいいよねと、暖かくて居心地がいいという意見をたくさんいただいております。旅行者の方々からも駅前がとても素敵だという意見をいただいておりますので、今再開発でいろいろな建物などができてきていますが、それに合わせてこういったエリア全体をつなげていくような、面で広げていくような取り組みをぜひ今後もやらせていただければと思います。どうぞよろしくお願いたします。ありがとうございます。</p>
<p>会長</p> <p>吉田委員 (16番)</p>	<p>御発言ありがとうございました。次に、吉田委員お願いいたします。</p> <p>いわき建設事務所の吉田です。</p> <p>この審議会では原田委員からのほこみち制度の提案を受けて、ほこみち制度を持っている国、そして国道399号を管理する道路管理者の県、そして都市政策及び中心市街地活性化を担う市、そして、商工会議所、商店街の皆さんが一本で繋がった非常に有意義な社会実験となりました。実験ですので、チャレンジができたということが大変よかったなと思っております。</p> <p>最終的には、ほこみち制度の本格運用に向けて、今事務局からもお話があったとおり、様々な改善点、あるいはビジョンなど、しっかりと意見を踏まえながら、我々は道路管理者として空間の再配分という点について取り組みながら、ぜひ導入していきたくと考えております。お願いたします。</p> <p>1点感想という点で特によかったと思うのが、これまでの賑わい創出というコンセプトで、商業の面で、人がにぎわう、人がいっぱい歩くということを当然我々は目指してきたのですが、今回非常に文化的な取り組み、例えば子供だったり、ヨガだったり、焚き火があつて癒されたりとかですね。決して商業だけではなくて、様々な人が様々なことを自己表現したり、関</p>

<p>会 長</p> <p>原田委員 (14 番)</p>	<p>わるということ。先ほど事務局から説明があった国交省の資料の中で、ウォークアブルのほかにダイバーシティというものもあって、いわゆる多様性なんですけれども。私は多様性というよりも寛容性というか、いろいろな人を認める、お互い見つめ合うということ。最終日は、オオカミや女の子などコスプレの方がいっぱいいたんですけれども、そういう違った人たちが普通に街にいて、そこが出会いの場になっている。それが最終的には街の賑わいにつながるのかなということで、それは今回非常に勉強になりました。また、使い方を含めて、ぜひ今回の経験を生かしてマネジメントしていただければと考えております。以上です。</p> <p>ありがとうございました。最後に、原田委員お願いいたします。</p> <p>磐城国道事務所の原田です。</p> <p>私の方も今回の社会実験に後援という形で参画をさせていただいて、磐城国道事務所からもブースを出させていただきまして、ありがとうございました。</p> <p>社会実験を振り返ると、今回準備している途中9月に大雨がありまして、県と市と地元の方々が一体となって短時間で準備をしていただいて、敬意を表したいと思います。</p> <p>また、我々は制度を持っている立場ではございますが、実際に活用した時にどういった使い方ができるのかという可能性を、この社会実験の中でかなり具体的にお示しいただけたと思っております。私自身も、食事をしたり座ったり、街中に立ち止まってゆっくり空間を味わうという経験を初めてできたかなと思っております。</p> <p>先ほど吉田所長からもお話がありましたが、今回企画されていた中身を見ると、飲食や物販などの一般的なものだけでなく、文化的なものがとても多かったので、やはりいわき市は成熟した街なんだということを改めて感じました。</p> <p>特に、随所で県、市、街、皆が連携して実施するということを実感できたのが、社会実験の中でとてもよかった点だと思っております。</p> <p>また、今後に向けてということになりますが、今回はあくまで社会実験ということで、単に人が多かった、少なかったという話ではなくて、どうやったら実際に稼働できるのか、実装できるのかということがこれから正念場だと思っております。今回は社会実験なので、例えば福島県で発注した業務を受注したコンサルさんがいらっちゃって、あるいは運営協力ということで北林さんやラトブさん、たいらまちづくり株式会社さんがいらっちゃって、裏方の部分をあの手この手でなんとかやって約2週間を乗り切ったところだと思っております。今後実装するとなると、それが当たり前日々やっていかないといけない業務になってくるので、そこをどういうふうに担っていくのかということがかなり重要なポイントになるのかなと思っております。</p> <p>そこは、エリアマネジメントという言い方をされていて、全国でいろいろな事例がやられておりますので参考になると思っておりますが、どこも公共空間を使って、民間ベースで行われている活動でありまして、構成されている団体も基本的には民間ベースです。今後いわき駅前の各商店はもちろん、事業者さん達の合意を取ったうえで、エリアマネジメントを皆で一緒にまわしていきましようということができかどうか、この取組みが実装できるかどうかのポイントかなと思っております。</p> <p>私自身もほこみちを提案させていただいた立場で、また社会実験にも参</p>
-----------------------------------	--

<p>会長</p>	<p>画させていただきましたし、なんとか実装までこぎつけられればと思っ ていますので、引き続きよろしく願いいたします。</p> <p>○質疑（報告事項）</p> <p>ありがとうございました。それでは、質疑に入ります。 御質問がありましたらお願いいたします。</p>
<p>松崎委員 （7番）</p>	<p>7番松崎です。道路空間を使って活性化を図っていくという大変いい試 みだと思います。そこで、大きな課題だと思うのですが、道路の中にガス 管とか水道を埋設して、それを使えるようにできないのかなど。課題はあ ると思うのですが、出店する人がそこに埋設されたガスや水道を使って、 店舗が展開できればもっと面白くなると思います。道路法も変わってきて そういうことが可能だと聞いたこともあるのですが、管理や運営の仕方と か課題もたくさんあると思うのですが、そうなればもっと面白く展開でき るのかなと思います。意見です。</p>
<p>会長</p>	<p>ただいまの質問に対しまして、どなたか御発言ありますか。</p>
<p>田口委員 （2番）</p>	<p>今の意見は素晴らしいと思うんですけど、一番すぐ利用できるのは電柱 だと思います。電気が来ているわけです。Wi-Fiも繋がっている。道 路沿いに電柱が建っていますから、あとは引き込むだけですから、そうす ると電気製品がすぐにでも使えるんじゃないですかね。</p> <p>あとお願いがあるんですけど、強風が吹いたりするとああいうテントは 非常に危ないんですよ。ですから、できればかなり丈夫なアンカーみた いなポールを差し込むだけで活用できるとか。今は強風でも飛んでいかな い非常に素晴らしいテントがいっぱいありますので、それをつなぐために。 道路沿いにアンカーを打つのはなかなか難しいので。</p> <p>それと、私は世界中65ヶ国ぐらい巡ってきた中で、蚤の市とかガレージ セールとか大好きで行くんですけど、自分たちで作ったクラフトを面白お かしく売っているんですよ。私もその絵は高いとか言って交渉すると値が 下がってきてですね、結構面白い。日本では有田の陶器市は、道路を使っ て街全部がそんな感じなんですね。あれは、陶器市だけで年間の収入の大 体半分ぐらいが陶器を作った人たちに入ると言われるんですね。そのぐら いめちゃくちゃ大きなイベントになっているんですね。私もかなり行きま した。</p> <p>東京近郊からバーッと来ていただける距離ですから。最終的に、そうい うふうに道路沿いをうまく活用するというプランは、私は素晴らしいと思 います。この絵を見て私も行きたかったなと思っています。以上です。</p>
<p>原田委員 （14番）</p>	<p>一般論としての回答になりますけど、結局ニーズとか運用の仕方次第な のかなと思っています。先ほど事務局からのほこみち制度の説明の中で、 最長20年間占用できますという話がありましたが、20年間固定して同じ方 が使用するのであれば、その方の使い方がベースになると思います。です が、運用の仕方によっては、毎週出店者を入れ替えてやる場合もあるし、 ハコモノだけを作ってあげて中身だけ入れ替えるということもできるし、 運用の仕方はいろいろあると思います。ですので、運用の仕方に合わせたり、 実際に使いたいというニーズがあれば、まちづくり団体とか道路管理 者とか、あるいは地元の方々等、皆で協議して決めていくものだと思います。</p>

<p>吉田委員 (16番)</p>	<p>私は道路管理者として。先ほど松崎委員からお話があったガスや水道、田口委員からお話があったアンカーについて、まさに運用の仕方なんです、そういうものは水道を担う市とか東北電力とか、そういった使い方でちゃんと公益性を確保できるのであれば、ある程度できるんですが。ただ、あるから使ってくださいというよりは、やはりこういうふうにするというのが必要で、先に投資というよりは、そういったエリアマネジメントの中で、配置を考える必要があると。</p> <p>例えば、今消火栓はあるんです。ただ、逆に消火栓は火災時のためにそこは絶対に物を置いてはいけなと、消防署からも指導されています。そういったいろいろな機能もありますので、今の御意見も含めて、今後の計画の中にそういったことを反映させていく、それを検討事項にすることがとても大事だと思います。</p> <p>それから、今露天商の話もありまして、非常に魅力ある話ですが、実は今回の公募である程度そういったものを制限しておりました。お祭りのような焼きそば、たこ焼きではなくて、もっと地域性を持った地元の方々ということで公募をした経緯があります。逆にあそこでチャレンジしたいだとか、それが非常に魅力的なものだということを考えれば、そういう出店とかを考えていくことはとても大事ななと思います。これは私の意見で、私が決めることではないですが、一応今回そういうルールでやったのですが、非常に大事な意見だなと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>御意見、御提案ありがとうございました。その他、御質問や御意見等ございませんか。</p>
<p>新妻委員 (6番)</p>	<p>6番新妻です。私からは意見というより応援で発言をさせていただきます。</p> <p>私は、今回の取組みについて前もった情報がなく、娘の送迎で目の前を通りまして、ほこみちってここかな、という印象だったんです。北林さんのお店の前なんか素敵なテラスがあったりして、とても同じ通りとは思えないような印象がありました。今の段階では、実験という形だったかと思うので、ストリートファニチャーが色々だったんですね。これが統一されていけば景観としてとても美しいんじゃないかなというのを感じました。</p> <p>そして、道路の上に占用物を置くのはNGというのが私の中であったものですから、これはどうやって実現していったんだろうと不思議な気持ちもあったんです。今日やっと初めて合点がいったというか、民間がこういうことをやりたい、それを公共が同じ目線で続けていくという素晴らしい取組みだと思います。どうしても何かやる時、管理上それは難しい、道路に物を置くのはNG、固定なんかもってのほかとるところから対立してきたというか、実現しないというものが、まっすぐ同じ行き先を見てここに実現するのかという感動すら覚えた次第です。</p> <p>ぜひ今後いわき駅前の景観を、どこの街にもないような美しいほこみちができるということを、願っております。</p>
<p>吉田委員 (16番)</p>	<p>ぜひ今の話に答えたい部分がありまして。ありがとうございます。</p> <p>今対立という言葉があつて、まさに官地と民地との境の敷居が高かったとか、道路の無余地性と言って、本当に必要なもの以外は置くなという我が物顔でやっていた部分がありました。そうではなくて、今回のコンセプトの公園化という流れがあつて、官民の境を曖昧にしましょう、とい</p>

	<p>うよりはもう究極は一体化ですね。お互いに、我々も落ち葉を掃除してもらったりしているわけで、そういう部分のニーズと、街は街でそこを社会のために使いたいというニーズや希望があったり、そこが対立ではなくて、まさに協調という中での実験でした。しっかり我々が道路管理者として、心して管理していきたいと思います。</p> <p>あと景観の話は私もそう思いますので、事務局でぜひお答えしていただければと思います。</p>
会 長	事務局、何かあればお願いします。
事務局 (都計)	直接景観というところに繋がるかどうかはあれなんですけど、先ほど御説明も少しさせていただきましたが、中活分科会の中で、今年度この駅前大通りのビジョン、将来構想みたいなものも少しまとめていこうかということになっております。そういった中で、景観という視点も一つ交えながら検討を進めていくことになるだろうと考えております。
会 長	ありがとうございました。その他、御質問、御意見ございませんか。よろしいでしょうか。
委 員	なし
会 長	それでは、報告事項は以上で終了いたします。
会 長	<p>○その他</p> <p>これで、本日の審議は全て終了となります。その他、何かございましたら、お願いいたします。特段御発言ないでしょうか。事務局から何かございますか。</p>
事務局	<p>事務局から、次回開催について御連絡いたします。</p> <p>次回の審議会は、来年3月を予定しておりますので、よろしくお願ひいたします。日程等の詳細につきましては、改めて事務担当より御連絡いたしますので、よろしくお願ひいたします。以上です。</p>
会 長	<p>それでは、以上をもちまして、私の進行を終わらせていただきます。</p> <p>皆様の御協力により円滑な議事進行ができましたこと、また、将来に向けて建設的な意見をいろいろ出していただいたことに感謝申し上げます。どうもありがとうございました。</p>
司 会	<p>○閉会</p> <p>皆様ありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、「第154回いわき市都市計画審議会」を終了いたします。本日は、長時間にわたり御審議いただき誠にありがとうございました。</p>

令和 5年 12月 26日

いわき市都市計画審議会
会長 田口 重憲 様

議事録署名人 原田 洋平

議事録署名人 長谷川 貴士